

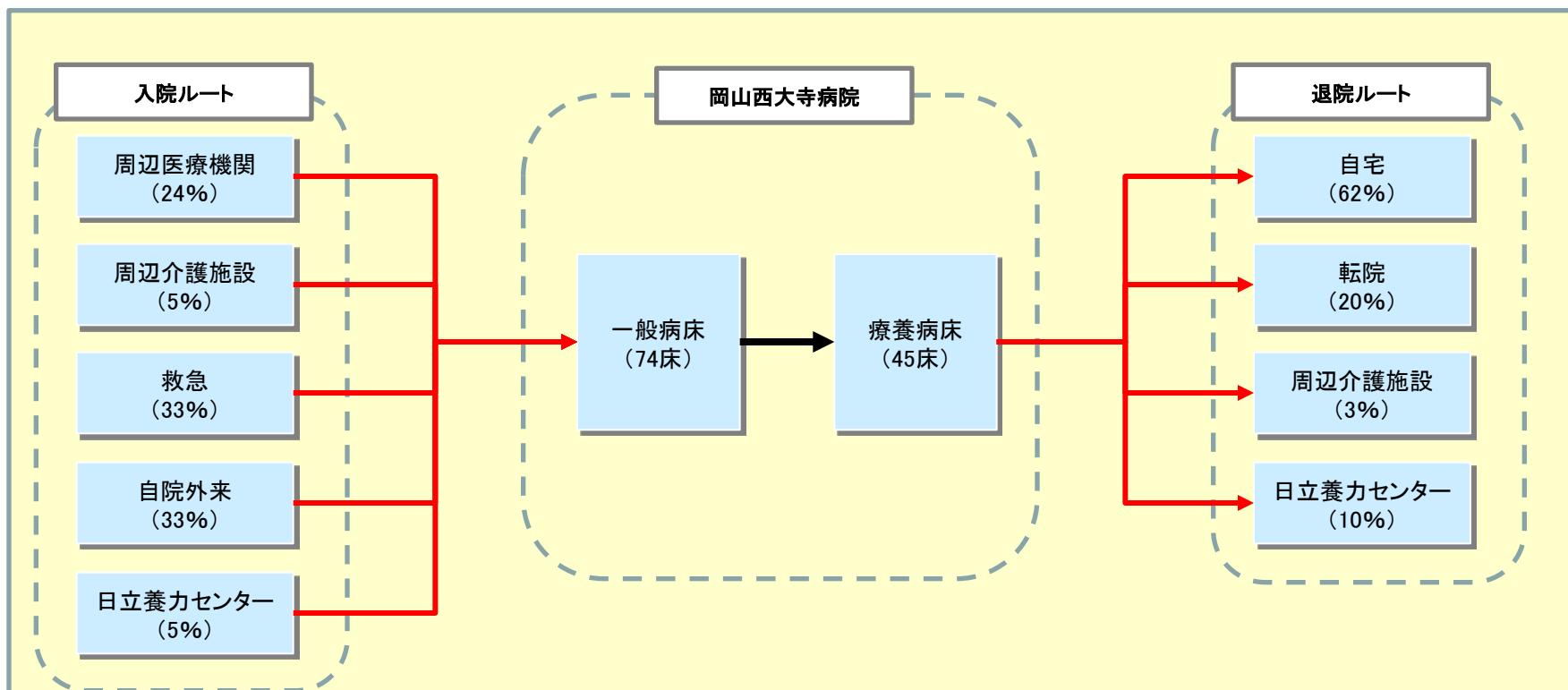
第7回 フレンドシップ・ミーティング

高齢者と向き合う医療・介護のありかた

岡山西大寺病院

2012. 6. 10

医療法人盛全会の課題



当院の課題

① 当院は通常の地域連携に加え年間 800件超の救急受入を行っており、西大寺エリア及び岡山市東区の基幹病院としての役割を担っているが、一般 74 床では既にキャパシティオーバーであり、更なる患者受入は困難な状況にある。

② また、療養病床においても、重介護者(胃ろう／透析／糖尿病患者)の入院長期化(退院困難)が発生している。

→ 病院のバックベッド機能 及び 重介護者の受入先の確保が急務

サービス付き高齢者向け住宅の概要

1. サービス付き高齢者向け住宅とは、高齢者単身・夫婦世帯を対象とした賃貸住宅。

(介護度 及び 医療依存度が低い人を対象とした施設が一般的)

2. 一般的なサ高住の概要

建物構造

- ◇ バリアフリー構造で広い廊下幅
- ◇ 25㎡以上の居室面積
- ◇ 居室ごとに 台所、洗面設備、浴室の設置 等

見守りサービス

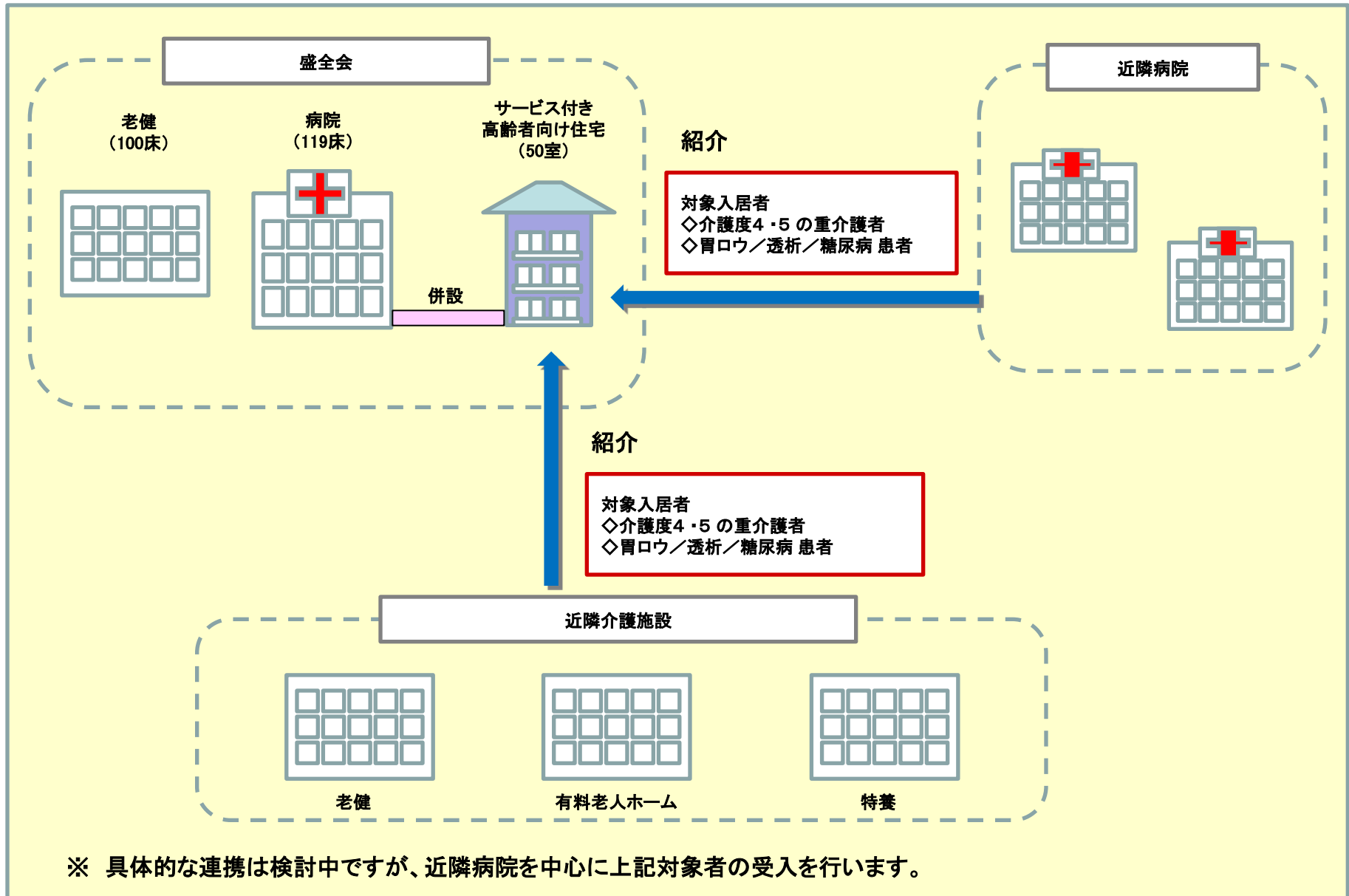
- ケアスタッフが日中常駐し
- ◇ 安否確認サービス
 - ◇ 生活相談サービス を提供

医療・介護サービス

提携医療機関 及び 介護事業所による

- ◇ 医療サービス / 往診、訪問看護、訪問リハ
- ◇ 介護サービス / デイ、訪問介護、定期巡回サービス 等 の提供

本件サ高住のコンセプト



※ 具体的な連携は検討中ですが、近隣病院を中心に上記対象者の受入を行います。

本件サ高住の特徴

1. 介護度 4・5 で疾病を持つ人が対象。

→ 胃ろう、透析、糖尿病患者（「介護難民」と呼ばれる病院・介護施設とも受入困難な高齢者）

2. サ高住入居者に対して下記サービスを提供。

→ 病院： 往診、訪問看護、訪問リハ

→ CM： デイサービス、訪問介護、居宅介護支援

3. 病院の隣接地に開設。

→ 疾患を持つ高齢者を対象としているため、緊急対応が必要。

本件サ高住の取組意義

1. 地域患者（高齢者）の囲い込み

周辺の医療機関・介護施設でも重介護者（特に疾病持ち）の出し先確保に苦勞しており、積極的に引き受けることで患者紹介等の更なる関係強化が図れる。

2. 介護難民問題に対する一つの解決策（社会的意義）

介護度が重く疾病を抱えた方は、病院では長期受入が難しく、また介護施設ではそもそも受入られない。医療と介護の狭間であるこの問題は、医療側からしか解決出来ず、この取組みがひとつのモデルケースとなりえる。

※ 病床回転率の改善

当施設を出し先として活用することで、病床の回転率が改善されることも見込まれる。

但し、西大寺病院のケースにおいては、地域高齢患者の囲い込みに重点を置いたオペレーションを考えている。

本件サ高住の老健(日立養力センター)との関係

1. 老健では、受入時の入所者選定で長期予定者をなるべく入所いただかないことが本質的な解決策である。

⇒ 長期入所者を老健経由でサ高住に移すという考え方は、現実的ではない。

(本件サ高住は老健の回転率向上には基本的には貢献しない。)

2. 但し、現時点で既に長期入所となっている方(約10名)を本件サ高住に移ってもらうことはできる。

⇒ 当初一回のみ、長期入所者の外出しによる回転率向上を図ることができる。